浦　和　区　自　治　会　連　合　会

令和５年度　第５回　理事会　報告書

日時　令和６年１月２３日（火）１６時～１７時
場所　本庁舎　２階　特別会議室

１　開会あいさつ

石井桂太郎副会長が開会あいさつを行った。冒頭、１月１日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々にご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げますとのあいさつがあった。また、藤枝会長のその後の体調の説明があり、まだ入院中であるがお元気であるとの報告があった。

２　理事会成立要件の確認

理事　１８名中　１６名出席　　成立した。

３　議事録署名人の指名

元府趾地区の長野恒理事を議事録署名人に指名した。

４　区からの依頼事項

（１）　都市公園課より浦和総合運動場野球場へのネーミングライツ導入について、パートナー企業が決定し、通称「アイルスタジアム浦和」に決定したので各自治会長あてに通知する旨の説明があった。

・この件で、使用料についての質問があり、年間５００万円で３年間との説明があった。

（２）　コミュニティ推進課より自治会電子回覧板事業について、事業概要、市の施策の位置づけ、今後のスケジュール等の説明があった。また、モデル事業取組状況は令和４年度に２自治会、５年度に８自治会で実証実験を開始しているとのことであった。

この説明に対し、以下の意見・質問があった。

・針ヶ谷地区の秦野理事より自治会での費用負担ではなく市が負担すべき、お年寄りはスマホをあまり使用しないし利用方法は誰が説明するのか、今のところ必要なしとの意見があった。

・北浦和地区の志水理事より、役員会でこの件について説明したが、若い人はついていけるが、高齢者はついていけない。しばらくは様子見との意見があった。

・前地地区の佐々木理事より、費用面（年間の負担額）で納得できないので導入に

は反対である。自治会ではHP上で回覧等発信しているので電子回覧は必要なしとの意見であった。

まだ、質問・意見が多数あったが、本日は時間的制約もあるので、次回理事会において、もう一度出席いただき説明等してもらうこととした。

（３） コミュニティ課より以下の項目について説明があった。

・公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団より「埼玉会館ランチタイム・コンサート」のチラシ回覧について説明及び依頼があった。

・昨年無料作成した回覧板が３月に納品されるので、必要な自治会はコミュニティ課に必要冊数を連絡していただきたいとの説明があった。

以上の依頼事項について了承した。

５　経過報告

１１月２２日（水）　第４回理事会（浦和区役所　１階　第２会議室）

１月１６日（火）　第５回正副会長会（浦和区役所　コミュニティ課内）

１月１７日（水）　市自治連臨時理事会・新年懇親会（JACK大宮　東天紅）

６　各専門委員会からの報告

（１） 事業委員会

秦野委員長から特になし。

（２） 対策委員会

佐々木委員長より能登半島地震の支援について、１月４日に石川県庁に自治連としての物資支援の連絡、１月５日に非常食、トイレ、マスク等の支援物資のメールを入れたが、今のところ石川県庁からは連絡無しとのことであった。

また、義援金については会長等とも協議した結果、浦和区自治連としては義援金の取りまとめには時間がかかるので行わない、よって単位自治会の判断で行っていただきたいとの説明があった。

（３） 情報委員会

村田委員長より、１月３０日に最後の情報委員会の会議を開催し、「自治連だより」発行の準備を進めているとの報告があった。

７　協議事項

（１） 総会における表彰者の推薦について

総会における表彰者の推薦について各地区連合会会長に依頼文を配布したので、各地区で取りまとめ、３月２９日（金）までに事務局に提出するよう石井副会長より説明があった。

（２） その他

・ 石井副会長より、来年度の総会についてプリムローズ有朋が２月２９日にならないと予約できるかわからないので、現在のところときわ会館を予約する予定であり、懇親会は予定していない。もし、プリムローズが予約できれば、総会及び懇親会を開催する予定であるとの説明があった。

・ 佐々木対策委員長より、２月１１日１３時３０分より浦和駅東口パルコ第１３集会室において能登半島地震の状況について防災アドバイザー協議会が説明会を開催するとのことである。その際、昨年の役員研修会で山梨県防災センターにおいて講義を行った災害・防災ボランティア未来会　代表の山下氏が能登半島地震の現在の状況を説明してくれるので、是非出席との説明があった。

９　閉会あいさつ

高橋　明副会長が閉会のあいさつを行った。

令和６年１月２９日　　浦和区自治会連合会　副会長　石井桂太郎